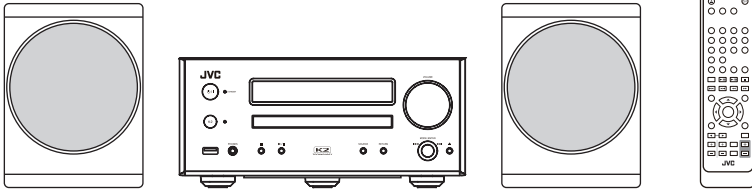


コンパクトコンポーネントシステム

EX-HR11/EX-HR9/ EX-HR7/EX-HR5 DΞUS



※イラストはEX-HR5を使用しています。



- もくじは3 ページにあります。

お買い上げありがとうございます

⚠️ ご使用の前に

この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

特に別紙の「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき安全にお使いください。

そのあと本書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。



**ユーザー登録
のすすめ**

お買い上げいただきました製品について「ユーザー登録」をお願いいたします。ご登録いただきますと製品のサポート情報、製品情報やイベント情報の提供サービスなどをご利用いただけます。また、今後のよりよい製品開発のためのアンケートにもご協力をお願いいたします。

●下記アドレスのホームページより、ご登録ください。

<http://www3.jvckenwood.com/reg/>

はじめに

各機器の音声を楽しむには

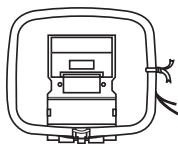
音声を楽しむために準備しましょう

スピーカーと接続しましょう (p. 8)

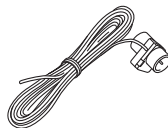


ラジオを聞きたい方は、アンテナを接続しましょう

AM アンテナを接続する (p. 9)



FM アンテナを接続する (p. 10)



お知らせ

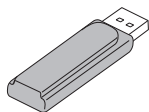
- AM アンテナと FM アンテナは本機に付属しています。
- AM アンテナは組み立ててから、本機に接続します。

各機器の音声を聞きましょう

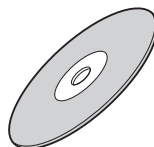
iPod/iPhone (p. 16)



USB メモリー (p. 18)



CD (p. 22)



ラジオ (p. 28)



BD/DVD レコーダー、テレビ (p. 34)



デジタルオーディオプレーヤー (p. 34)



もくじ

はじめに	2	FM/AM ラジオを聞く	28
各機器の音声を楽しむには	2	放送局を受信する	28
本機を設置するときは	5	アンテナを調整する	29
準備する	6	放送局を記憶させる(プリセット)	30
付属品を確認する	6	記憶した放送局を呼び出す	32
リモコンを準備する	6	記憶させた放送局を消去する	33
接続する	8	外部機器を聞く	34
スピーカーを接続する	8	外部機器を接続する	34
AM アンテナを接続する	9	再生する	35
FM アンテナを接続する	10	音質を設定する	36
他の機器(市販品)を接続する	11	再生音質を高める(K2 機能)	36
各部のなまえ	12	好みの音質に設定する	36
本体前面	12	重低音を強める(AHB)	37
表示部	13	音質設定をリセットする	37
リモコン	14	スピーカーの左右の音量バランスを調整する	37
ふだんの使いかた	15	タイマーを使う	38
電源を入れる / 切る	15	スリープタイマーを設定する	38
音源を選んで聞く	15	その他の設定	39
一時的に消音する	15	表示される情報を変える	39
iPod/ iPhone を聞く	16	表示の明るさを変える	39
iPod/ iPhone を接続する	16	オートパワーセーブ(節電機能)をオフに設定する	40
再生する	16	その他	42
iPod/ iPhone のメニューを操作する	17	再生できる iPod	42
USB 機器を聞く	18	再生できる CD とファイル	42
USB 機器を接続する	18	CD-R/CD-RW のご注意	43
再生する	18	USB 機器のご注意	43
チャージモードで機器を充電する	21	オーディオファイルのご注意	44
CD を聞く	22	商標	44
CD を入れる	22	故障かな?と思ったら	45
再生する	23	主な仕様	48
プログラム再生をする	26	保証とアフターサービス	51
チャイルドロックを使う	27		

はじめに

オートパワーセーブ(節電機能)について

- 本機には、消音状態などが 15 分間続くと自動で電源が切れる「オートパワーセーブ」があり、お買い上げ時には有効になっています。(p. 40)

本書の見かた

- この取扱説明書では、EX-HR5 を例に説明しています。
- 本書では、主にリモコンのボタンを使って説明しています。本体にも同じマークのボタンがある場合には、本体のボタンもお使いいただけます。
- この取扱説明書のディスプレイ表示は実際のディスプレイ表示とは異なる場合があります。

本書の表記について

- 本書の説明で「iPod」と表記しているときは、iPod、iPod touch、iPhone を含みます。iPod touch、iPhone を指すときは、「iPod touch」、「iPhone」と表記します。
- 本書ではオーディオファイル(MP3/WMA/AAC)の説明をする場合、「ファイル」と「曲」は同じ意味で使っています。

本機のボタンの押し方について

本機のボタンの押し方は、2 種類あります。

ボタンを短めに押す:



ボタンを軽く短めに「ポン」と押して、早めに指を離してください。強く押し過ぎたり、ゆっくり押すと本機が反応しない場合があります。そのような場合は、押す時間や力を調節して数回試してみてください。

ボタンを長めに押す:



ボタンを長めに押し続けてから、指を離してください。

レーザー製品についてのご注意

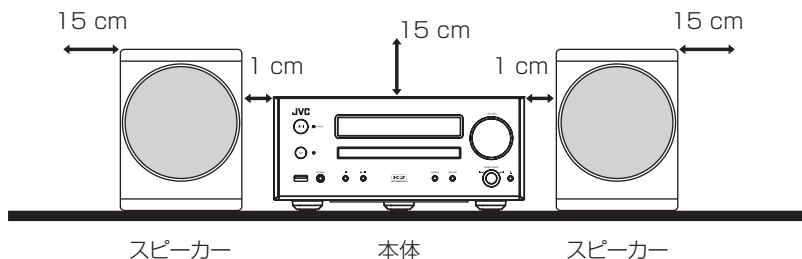
1. この製品は JIS C6802 規格に基づくクラス 1 レーザー製品です。
2. 注意: 機器内部には、危険なレーザー放射部があります。分解、改造はしないでください。

本機を設置するときは

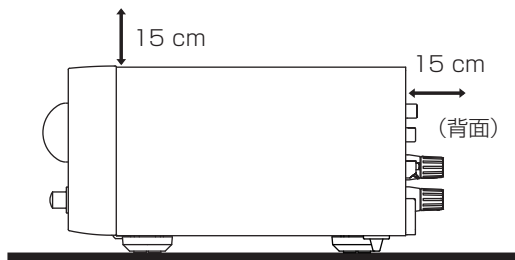
本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。特に次のことに注意してください。

- あお向けや横倒し、逆さまにしない
- 本箱、押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない
- テーブルクロス、新聞、カーテン、毛布などで通風孔をふさがない
- 本や雑誌などをのせない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- 機器の各面から、図に示すスペースを空けてください。

正面



側面



ご注意

- 本機の使用環境温度は、5℃～35℃です。この範囲外の温度で使用すると、正しく動作しなかったり故障の原因となることがあります。

より良い音で聞かために

スピーカー周りに空間をもたせる

スピーカーを棚の中に収納すると、出てくる音が詰まり、音の広がりが失われます。スピーカー周りは、上も下もできるだけ空気の抜けが良くなるように設置することをおすすめします。

しっかりした場所に設置する

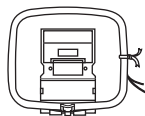
固く安定した場所に設置すると、解像度や音の輪郭に差がでできます。

準備する

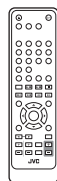
付属品を確認する

お使いになる前にお確かめください。

AMループアンテナ (1個)



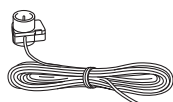
リモコン(1個)
RM-SEEXHR9



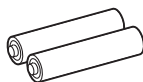
スピーカーコード
(1.5m、2本)



FM簡易型アンテナ(1本)



リモコン用乾電池(単4形:2本)

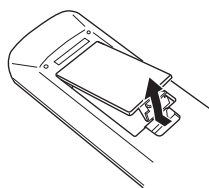


リモコンを準備する

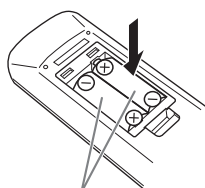
電池を入れる

電池の+と-の向きを正しく入れてください。

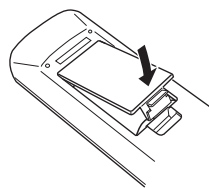
1



2



3

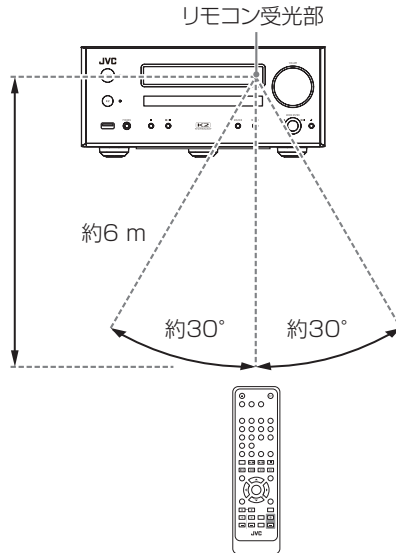


単4形乾電池(付属品)

ご注意

- 付属の電池は動作確認用です。早めに新しい電池と交換してください。
- 乾電池は、「安全上のご注意」(別紙)をお読みの上、正しくお取り扱いください。
- 使用済みの電池は、絶縁テープなどを貼って絶縁し、所在自治体の指示に従って廃棄してください。
- 落としたりぶつけたりなど、リモコンに強い衝撃を与えないでください。

操作のしかた



- リモコン受光部に向けてリモコンを操作してください。
- リモコンと本体の距離が近すぎると操作できません。
- 本体のリモコン受光部に、直射日光などの強い光が当たると、正しく動作しないことがあります。誤動作を避けるために、設置場所を変えてください。

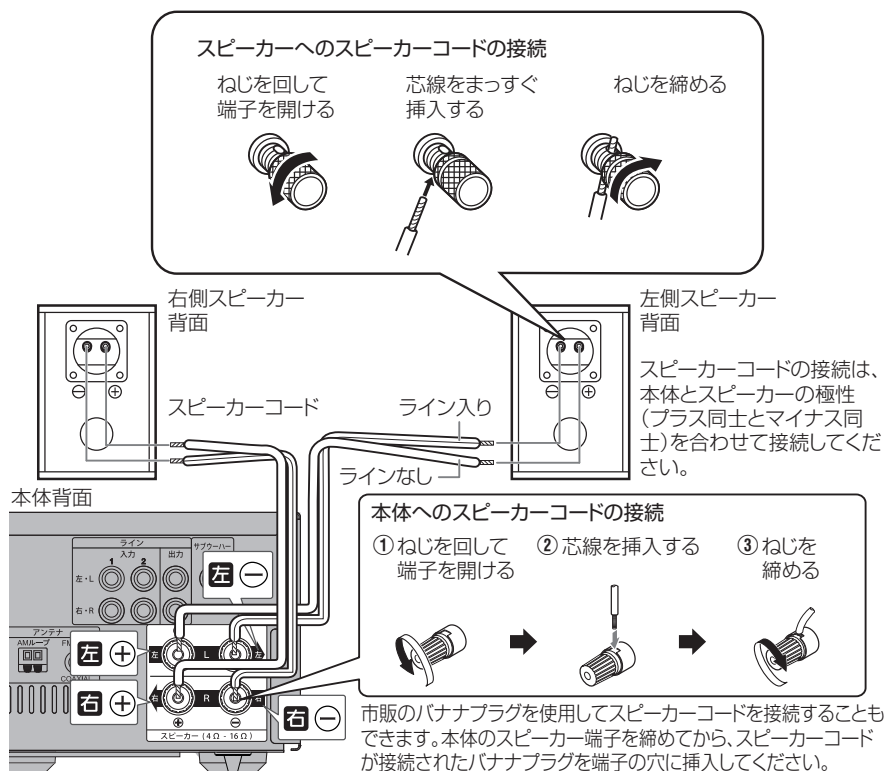
接続する

ご注意

- すべての接続が終わってから、電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- 接続したコード、ケーブル類を抜くときは、事前に必ず本体の電源をオフにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。

スピーカーを接続する

- イラストは接続の一例です。イラスト以外のスピーカー端子やスピーカーコードでも接続できます。



スピーカーの接続についてのご注意

- 1つの端子に2つ以上のスピーカーを接続しないでください。
- スピーカーコードを強く押し込みすぎて、ビニールの被覆を端子の中に入れてないようにしてください。
- スピーカーコードの接続を間違えると、故障の原因となりますので、図のとおり正しく接続してください。

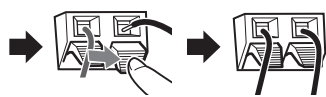
AM アンテナを接続する

アンテナ線の挿入のしかた

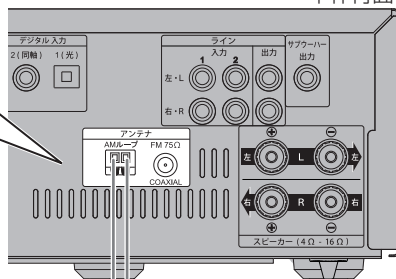
- ① 強く押す ② 芯線を挿入する ③ 離す



- ④ もう片方も同様に挿入する



本体背面

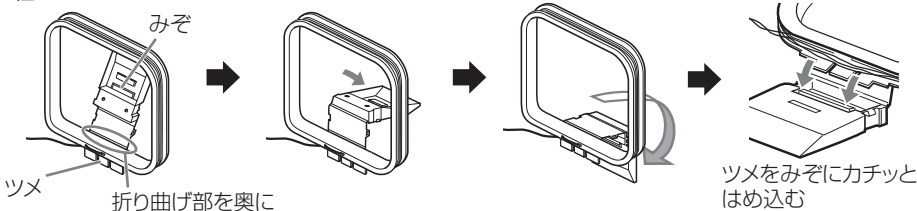


AMループアンテナ(付属品)

接続したAMループアンテナを左右に回して最も受信状態の良い方向に向けて置きます。



組み立てかた



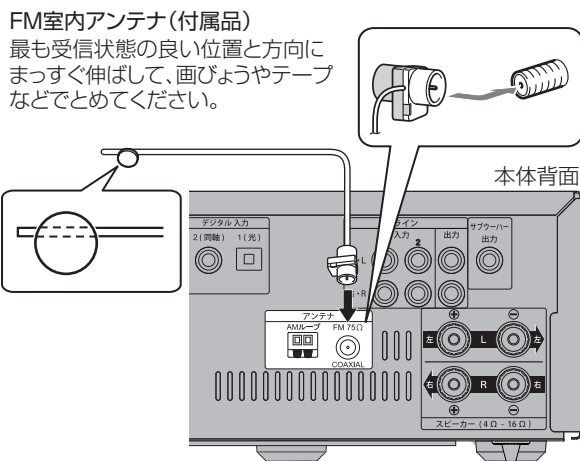
AM ループアンテナについてのご注意

- ラジオを聞く前に必ずアンテナを接続してください。
- AM ループアンテナは、アンテナ線が枠に巻かれた状態のままお使いください。枠からはずすとアンテナの効果がなくなり、感度が悪くなります。
- アンテナの導線部分が他の端子やケーブルに触れないようにご注意ください。また、アンテナを他のケーブルから離してください。受信の妨げになることがあります。
- アンテナは、一般に窓の近くに設置するほうが良好に受信できます。

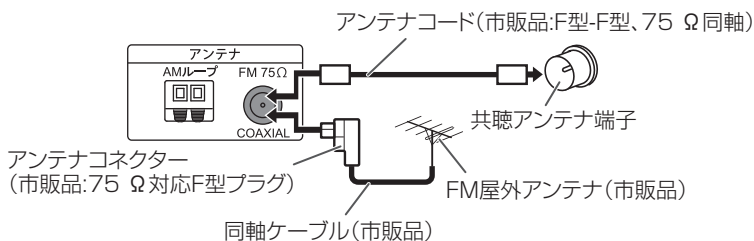
接続する

FM アンテナを接続する

FM アンテナの接続



マンションなどの壁の共聴アンテナ端子または FM 屋外アンテナを使うとき



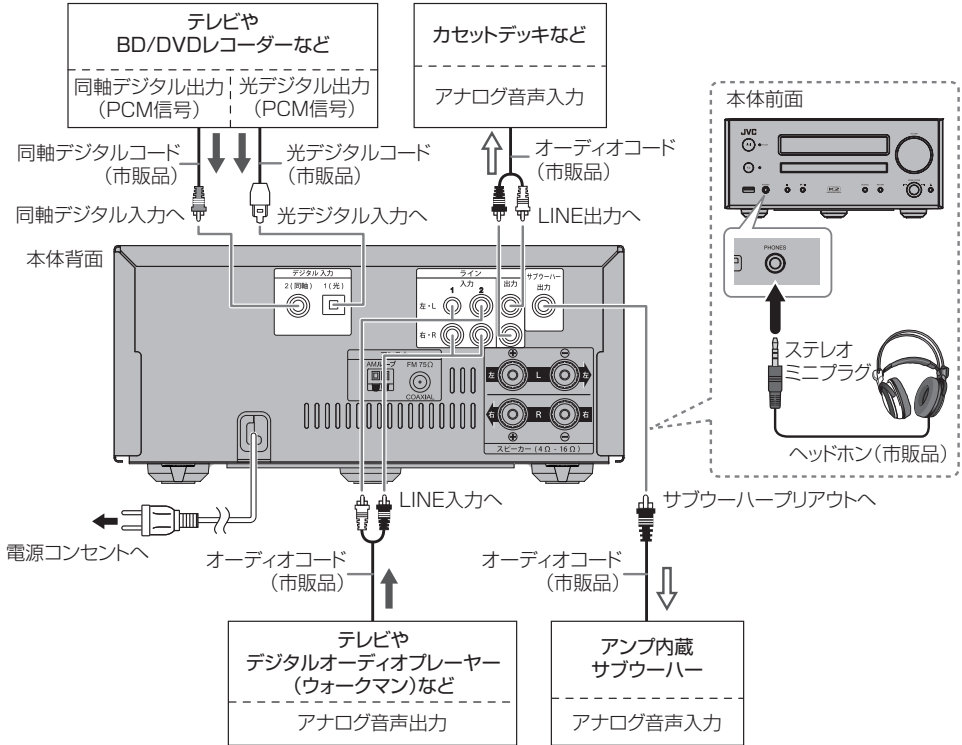
- 付属品以外のアンテナを接続する際の詳細については、アンテナおよびアンテナコネクターの取扱説明書を参照してください。
- アンテナの設置場所を決めるときは、実際の放送を聞きながら行ってください。

ご注意

- アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因になることがあります。
- アンテナの導線部分が他の端子やケーブルに触れないようにご注意ください。また、アンテナを他のケーブルから離してください。受信の妨げになることがあります。
- ケーブルテレビ会社と契約しているマンションの共聴アンテナ端子に本機の FM 端子を接続している場合は、FM 放送局の周波数が通常と異なることがあります。詳細は、ご契約のケーブルテレビ会社へお問い合わせください。

他の機器(市販品)を接続する

接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合は、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。



お知らせ

- お使いの外部機器の取扱説明書をご覧ください。
- デジタル入力端子を接続した場合は、テレビやBDレコーダーなどの接続機器側のデジタル音声出力設定を「PCM」にしてください。

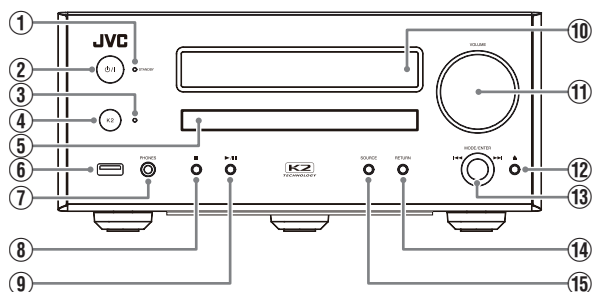
電源コードについてのご注意

- 出かけるときや長期間使用しないときは、電源コードをコンセントから抜いてください。

各部のなまえ

本体前面

- 参照ページは主な紹介ページを記載しています。



① STANDBY インジケーター

本機の電源が切れているときは赤色に点灯します。電源が入っているときは消灯します。

② 電源

(p. 15)

③ K2 インジケーター

(p. 36)

④ K2

(p. 36)

⑤ CD トレイ

(p. 22)

⑥ USB 端子

(p. 16, 18)

⑦ PHONES 端子

ヘッドホンを接続します。
ヘッドホンを接続すると、スピーカーから音が出なくなります。

⑧ (停止)

(p. 28)

⑨ (再生/一時停止)

⑩ リモコン受光部

(p. 7)

⑪ VOLUME

(p. 15)

⑫ (CD トレイ開閉)

(p. 22)

⑬ MODE/ENTER



(p. 17, 19, 20, 25, 26, 30, 33, 40)

⑭ RETURN

(p. 17)

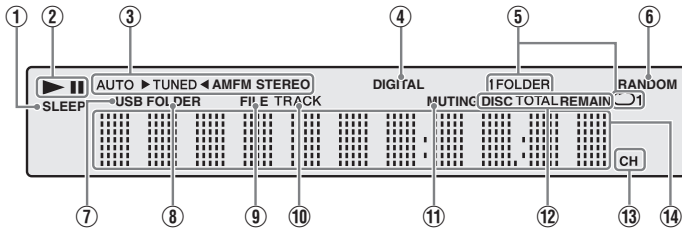
⑮ SOURCE

(p. 15, 16, 18, 23, 28, 30, 35)

お知らせ

- 電源が切れているとき(スタンバイ状態)にも、少量の電力を消費します。

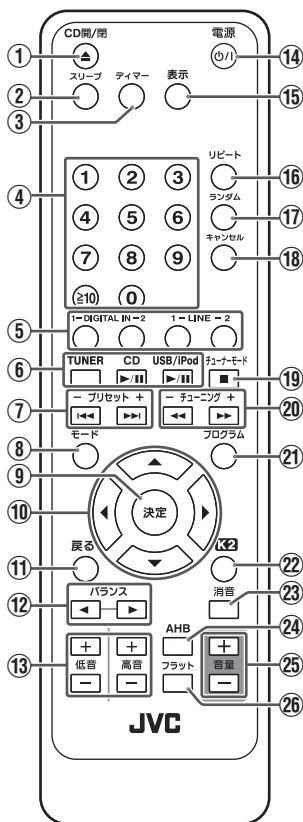
表示部



- ① **SLEEP アイコン**
(p. 38)
- ② **再生状態アイコン**
▶(再生)アイコン
|| (一時停止)アイコン
- ③ **ラジオ放送受信表示**
AUTO アイコン
ラジオのオート選局時に点灯します。マニュアル選局時は消灯します。
TUNED アイコン
放送局を受信すると点灯します。
AM FM アイコン
AM または FM 放送時点灯します。
STEREO アイコン
FM ステレオ放送を受信すると点灯します。
- ④ **DIGITAL アイコン**
音源が「DIGITAL IN」で、デジタル信号が入力されている時に点灯します。デジタル信号が入力されていない時は点滅します。
- ⑤ **リピートモードアイコン**
(p. 19, 24)
1FOLDER アイコン
フォルダの曲をリピート再生するときに点灯します。
🔄アイコン
すべての曲をリピート再生するときに点灯します。
🔄1アイコン
1 曲をリピート再生するときに点灯します。
- ⑥ **RANDOM アイコン**
(p. 19, 25)
- ⑦ **USB アイコン**
USB 接続中に点灯します。
- ⑧ **FOLDER アイコン**
オーディオファイルのフォルダを表示しているときに点灯します。
- ⑨ **FILE アイコン**
オーディオファイルを表示しているときに点灯します。
- ⑩ **TRACK アイコン**
トラックを表示しているときに点灯します。
- ⑪ **MUTING アイコン**
(p. 15)
- ⑫ **表示切り換えアイコン**
DISC アイコン
ディスク再生停止中、ディスク全体の経過時間を表示しているときに点灯します。
TOTAL アイコン
ディスク再生停止中、ディスク全体の経過時間を表示しているときに点灯します。
ディスク再生中、全体の残量時間を表示しているときに点灯します。
REMAIN アイコン
ディスク再生中、曲の残量時間を表示しているときに点灯します。ディスク全体の残量時間を表示しているときは **TOTAL アイコン** と **REMAIN アイコン** が点灯します。
- ⑬ **CH アイコン**
AM または FM 放送局のプリセット番号を表示しているときに点灯します。
- ⑭ **テキスト表示**
各音源の情報を表示します。

各部のなまえ

リモコン



① ▲(CDトレイ開閉)
(p. 22)

② スリープ
(p. 38)

③ タイマー
(p. 39)

④ 数字ボタン
(p. 23、26、32)

⑤ 外部入力切換
(p. 35)

⑥ 音源切換、▶/||
(p. 15、16、18、23、
28)

⑦ ◀◀▶▶プリセット
(p. 17、19、20、25、
26、32)

⑧ モード
(p. 30、33、40)

⑨ 決定
(p. 17、26、30、33、
40)

⑩ ◀ ▶ ▲ ▼
(p. 17、30、33、40)

⑪ 戻る
(p. 17)

⑫ バランス ◀▶
(p. 37)

⑬ 低音 +- / 高音 +-
(p. 36)

⑭ ㊦(電源)
(p. 15)

⑮ 表示
(p. 39)

⑯ リピート
(p. 17、19、24)

⑰ ランダム
(p. 17、19、25)

⑱ キャンセル
(p. 27)

⑲ ■ チューナーモード
(p. 19、23、25、28)

⑳ ◀◀▶▶ チューニング
(p. 17、19、23、27、
28、31)

㉑ プログラム
(p. 26)

㉒ K2
(p. 36)

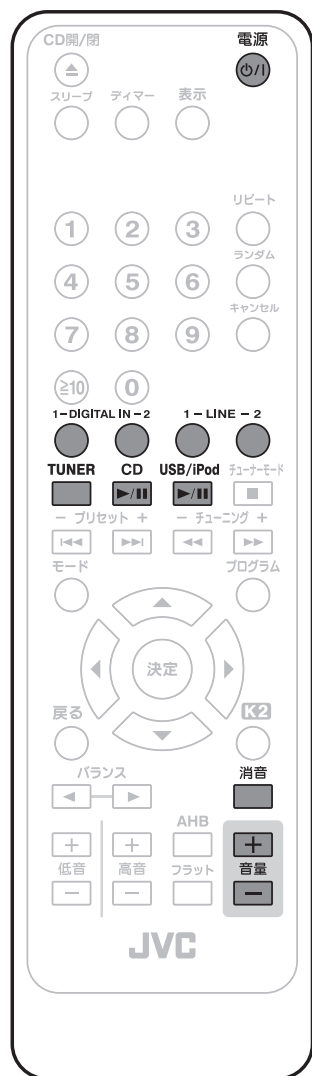
㉓ 消音
(p. 15)

㉔ AHB
(p. 37)

㉕ 音量 +-
(p. 15)

㉖ フラット
(p. 37)

ふだんの使いかた



電源を入れる / 切る

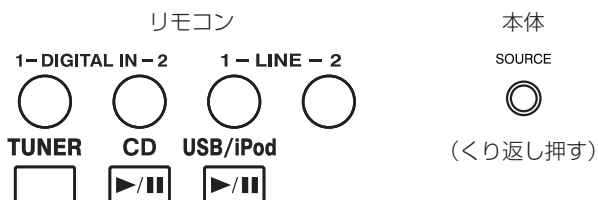
電源



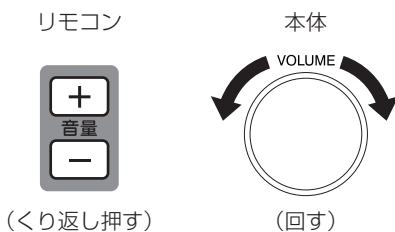
- リモコンの[CD ▶/||]などの各音源ボタンを押して電源を入れることもできます。

音源を選んで聞く

1 音源を選ぶ



2 音量を調節する



- 調節範囲: 0 ~ 50 (Max)
- 押しつづけると、連続して変わります。

一時的に消音する



- もう1度押すか、音量を調節すると、消音が解除されます。

iPod/ iPhone を聞く



iPod/ iPhone を接続する

iPod を本機の USB 端子に接続して、本機から操作して再生できます。



ご注意

- iPod は、電源が切れた状態で取りはずしてください。再生中に取りはずすと、ファイルや iPod のファイルシステムが破損する恐れがあります。
- 本機から iPod に録音することはできません。

お知らせ

- iPod は以下のときに充電されます。
 - 音源にかかわらず本機の電源が入っているとき。USB 端子に接続すると充電されます。
 - 本機のチャージモード(p. 21)をオンに設定し、電源が切れているとき(スタンバイ状態のとき)。USB 端子に接続すると充電されます。
- iPod/iPhone の充電電池またはバッテリーが完全に消耗している場合、充電機能が動かないことがあります。その場合は、一度本機の電源を入れなおしてください。
- iPod/iPhone が充電されない場合、本機の電源を入れて音源を「USB/iPod」に切り換え、iPod/iPhone を再生できる状態になってから電源を切ってください。
- 以下の iPod/iPhone は、本機の電源が切れているとき(スタンバイ状態のとき)に接続しても充電できません。(p. 46)
 - iPod nano(第2世代)、iPod touch(第1世代/第2世代/第3世代/第4世代)、iPhone 3G、iPhone 3GS、iPhone 4

再生する

再生する



- 本体側で操作するときは、iPod の認識が終わった後、[▶/||]を押してください。iPod の再生が始まります。

一時停止する

USB/iPod



- もう1度押すと、一時停止を解除します。

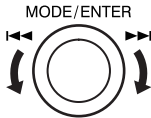
曲を選ぶ

リモコン



(くり返し押し)

本体



(回す)

- 次の曲に移動するには、[▶▶] を押します。
- 再生している曲の最初に移動するには、[◀◀] を押します。続けて2回押すと、前の曲に移動します。

早戻し/早送りする

再生中に



(押し続ける)

- 早戻しするには、[◀◀] を押し続けます。
- 早送りするには、[▶▶] を押し続けます。

リピート再生をする

リピート



- 押すたびに iPod のリピート再生モードが切り換わります。

シャッフル再生をする

ランダム



- 押すたびに iPod のシャッフル再生モードが切り換わります。

iPod/ iPhone のメニューを操作する

1 メニューを表示する

リモコン

戻る

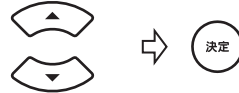


本体

RETURN



2 項目を選ぶ



(くり返し押し)

前のメニューに戻る

- [戻る]を押す。

お知らせ

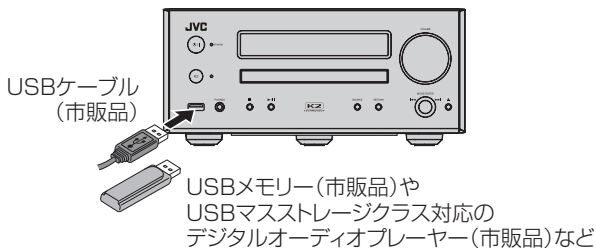
- iPod/iPhone が iOS7.0 以降の場合、本機側でメニュー操作ができません。iPod/iPhone 側でメニュー操作を行なってください。
- iPod の種類により、動作が異なることがあります。
- iPod のイコライザーを使用していると、録音レベルが高い音を再生したときに音がひずむことがありますので、使用しないことをおすすめします。
- 一部の iPod では、メニュー画面の操作を行うときは、iPod で操作してください。
- iPhone または iPod touch の接続中に次の操作を行うときは、iPhone や iPod touch で操作します。
 - ホームボタンを押す
 - ホーム画面でアプリケーションアイコンを選ぶ
 - スライダーをドラッグする
- iPod の操作については、iPod の取扱説明書をご覧ください。



USB 機器を聞く



USB 機器を接続する



ご注意

- USB 機器は、停止状態で取りはずしてください。再生中に取りはずすと、ファイルや USB 機器のファイルシステムが破損する恐れがあります。
- Android 端末には対応していません。本機の USB 端子に接続しないでください。
- ソニー製ウォークマンなど、独自のソフトウェアで音楽ファイルを管理しているオーディオプレーヤーを、本機の USB 端子に接続して使用することはできません。
LINE 入力端子にステレオミニプラグーピンプラグ接続コードなどで接続して、再生してください。(p. 34)

お知らせ

- USB 機器は以下のときに充電されます。
 - 音源にかかわらず本機の電源が入っているとき。USB 端子に接続すると充電されます。
 - 本機の充電モード(下記)をオンに設定し、電源が切れているとき(スタンバイ状態のとき)。USB 端子に接続すると充電されます。

再生する

再生する



- 本体側で操作するときは、USB 機器の認識が終わった後、[▶/||] を押してください。

お知らせ

- USB 機器のプログラム再生機能はありません。
- 本機から USB 機器に録音することはできません。

一時停止する

USB/iPod



- もう1度押すと、一時停止を解除します。

停止する

チューナーモード



- オーディオファイルの場合、停止後に再度再生すると、再生していた曲の先頭から再開します(リジューム機能)。停止中にもう1度 [■] を押すと、リジューム機能は解除されます。

曲を選ぶ

リモコン



(くり返し押す)

本体



(回す)

- 次の曲に移動するには、[▶▶] を押します。
- 再生している曲の最初に移動するには、[◀◀] を押します。続けて2回押すと、前の曲に移動します。

早戻し/早送りする

再生中または一時停止中に



(押し続ける)

リピート再生をする

1 リピートの種類を選ぶ

再生中または停止中に

リピート



- 押すたびに以下のように切り換わります。
- 「」アイコン:
すべての曲をくり返します。
- 「」アイコン:
現在の曲をくり返します。
- 「」アイコン:
現在のフォルダの曲をくり返します。

2 停止中の場合は、再生する

USB/iPod



ランダム再生をする

1 ランダムを設定する

停止中に

ランダム



- 「[RANDOM]」アイコンが点灯します。

2 再生する

USB/iPod



- ランダム再生中に[◀◀]を押しても、前の曲に戻ることはできません。
- 停止中に[ランダム]をもう1度押すと、ランダム再生が解除され、「[RANDOM]」アイコンが消灯します。

お知らせ

- 以下の場合は、ランダム再生が解除されます。
 - USB 機器を取りはずす

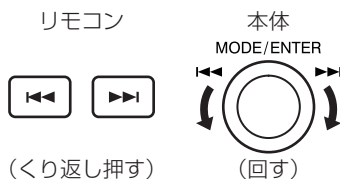
他のフォルダを再生する

1 現在のフォルダ名を表示する



- フォルダ名が点滅します。

2 フォルダを選ぶ

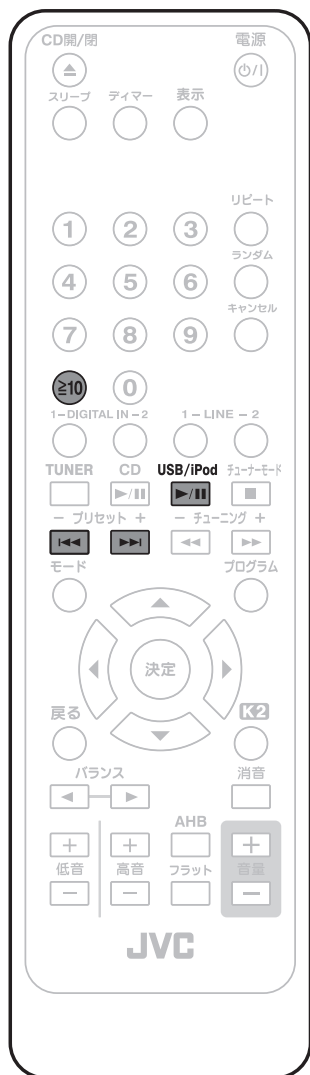


3 再生する

USB/iPod



- フォルダ内の最初のファイルから再生が始まります。
- USB 機器によっては、フォルダを選べないことがあります。

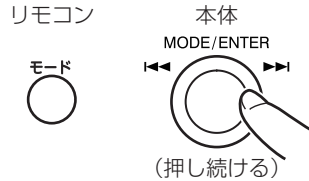




チャージモードで機器を充電する

本機の電源が切れているとき(スタンバイ状態のとき)に iPod や USB 機器への充電をするかしないかを設定します。設定は本機の電源が入っている状態で行なってください。

1 設定メニューを表示する



2 「Charge Mode」を選ぶ



3 「On」または「Off」を選ぶ



- 「On」(初期設定): iPod または USB 機器を接続すると充電を開始します。
- 「Off」: iPod または USB 機器を接続しても充電されません。

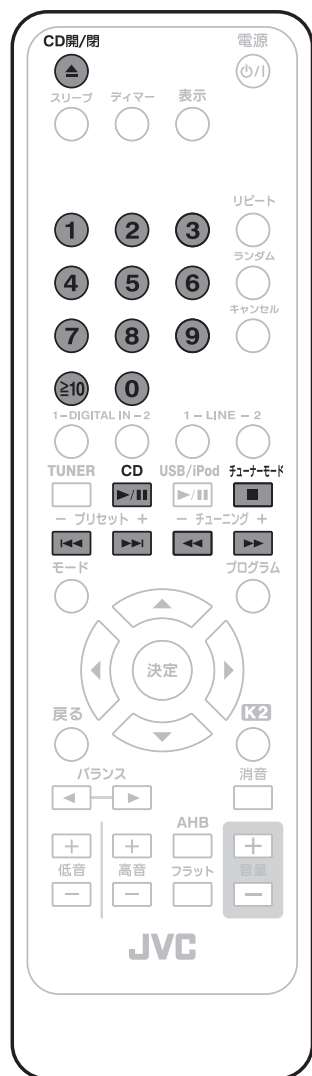
4 電源を切る(スタンバイ状態にする)

5 iPod または USB 機器を接続する

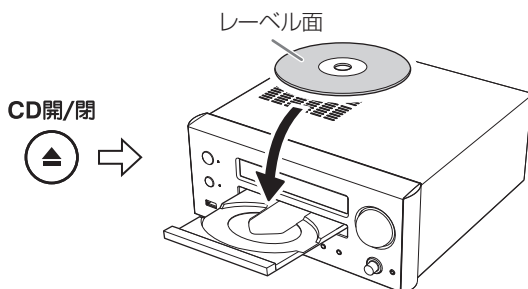
表示部に「Charging」と表示され、充電が開始されます。

- チャージモードをオンに設定している場合、電源が切れているとき(スタンバイ状態)の消費電力が増加します。
- 充電中に iPod または USB 機器を取りはずすと、電源が切(スタンバイ状態)になります。

CD を聞く



CDを入れる



- CDトレイを閉めるには、**[▲]**を押します。

お知らせ

- 電源が切れているとき(スタンバイ状態)に**[▲]**を押すと、電源が入り CDトレイが開きます。

再生する

再生する

リモコン



本体



一時停止する

CD



- もう1度押すと、一時停止を解除します。

停止する

チューナーモード



曲を選ぶ

リモコン



(くり返し押す)

本体

MODE/ENTER



(回す)

- 次の曲に移動するには、[▶▶] を押します。
- 再生している曲の最初に移動するには、[◀◀] を押します。続けて2回押すと、前の曲に移動します。

曲番号を指定して曲を選ぶ

リモコンの数字ボタンを押して選びます。

例:

- 3 番目を選ぶとき: ③
- 17 番目を選ぶとき: ≥ 10 ① ⑦
- 20 番目を選ぶとき: ≥ 10 ② ① ①
- 123 番目を選ぶとき: ≥ 10 ① ② ③
(MP3/WMA ファイルのみ)

早戻し/早送りする

再生中または一時停止中に



(押し続ける)





リピート再生をする



1 リピートの種類を選ぶ

再生中または停止中に





- 押すたびに以下のように切り換わります。
- 「」アイコン：
すべての曲をくり返します。
- 「」アイコン：
現在の曲をくり返します。
- アイコン消灯：
リピート再生を解除します。

2 停止中の場合は、再生する



お知らせ

- プログラム再生中に「」(全曲くり返し)にすると、プログラムした全曲をリピート再生します。
- ランダム再生中に「」(全曲くり返し)にすると、ランダムな順序で全曲をリピート再生します。
- 以下の場合は、リピート再生が解除されます。
 - 電源を切る
 - CD トレイを開ける

ランダム再生をする

1 ランダムを設定する

停止中に



- 「RANDOM」アイコンが点灯します。

2 再生する

CD



- ランダム再生中に[◀◀]を押しても、前の曲に戻ることはできません。
- 停止中に[ランダム]をもう1度押すと、ランダム再生が解除され、「RANDOM」アイコンが消灯します。

お知らせ

- 以下の場合は、ランダム再生が解除されます。
 - 電源を切る
 - CD トレイを開ける

他のフォルダを再生する (MP3/WMA のみ)

1 フォルダおよびファイルの選択モードを表示する

停止中に

チューナーモード



- [決定]を押すと、次の階層に進みます。
- [戻る]を押すと、前の階層に戻ります。
- もう1度[■]を押すと、フォルダ名表示を終了します。

2 フォルダまたはファイルを選ぶ

リモコン

本体
MODE/ENTER

(くり返し押す)

(回す)

- [▲][▼]を押してもフォルダやファイルを選択できません。

3 再生する

CD



- ディスクの種類によっては、フォルダを選べないことがあります。





プログラム再生をする

CD の曲を、32 曲までお好みの順で再生します。

お知らせ

- プログラム再生の登録が 32 曲を超えると、「PGM Full」が点滅します。

1 プログラムモードを表示させる

停止中に

プログラム

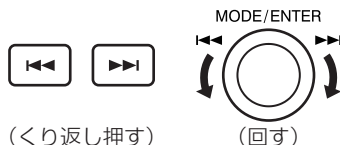


2 登録したい曲を選ぶ

① 曲やフォルダ、ファイルを選ぶ

リモコン

本体



(くり返し押し)

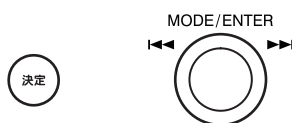
(回す)

- フォルダの最後の曲で [▶▶] を押しと、次のフォルダの 1 曲目に移動します。

② [決定]を押し

リモコン

本体



- MP3/WMA ファイルの場合、リモコンの数字ボタンでもフォルダやファイルを選べます。

例:

- 17 番目のフォルダを選ぶとき: ≥ 10 を 2 回押し、① ① ⑦
- 7 番目のファイルを選ぶとき: ≥ 10 を 1 回押し、① ① ⑦
- 123 番目のファイルを選ぶとき: ≥ 10 を 1 回押し、① ② ③

3 手順2をくり返して、他の曲を登録する

4 再生する



プログラム内容を確認する

プログラム再生停止中に



- 登録した曲が順に表示されます。

プログラムに曲を追加する

プログラム再生停止中に

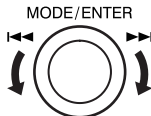
① 追加したい曲やファイルを選ぶ

リモコン



(くり返し押す)

本体



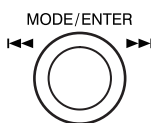
(回す)

② [決定]を押す

リモコン



本体



- プログラムの最後に曲が追加されます。

登録した曲を削除する

プログラム再生停止中に

キャンセル



- 押すごとにプログラムの最後の曲が削除されます。

プログラム再生を解除する

プログラム再生停止中に

プログラム



- 以下の場合もプログラム再生は解除されます。
 - 電源を切る
 - CD トレイを開ける

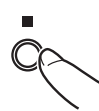
チャイルドロックを使う

本機に入れたディスクを取り出せないようにロックすることができます。

チャイルドロックを設定する

電源が入った状態で、本体の[■]を押したまま、リモコンの[⏻] (電源ボタン) を押します。

本体



(押し続ける)

リモコン

電源



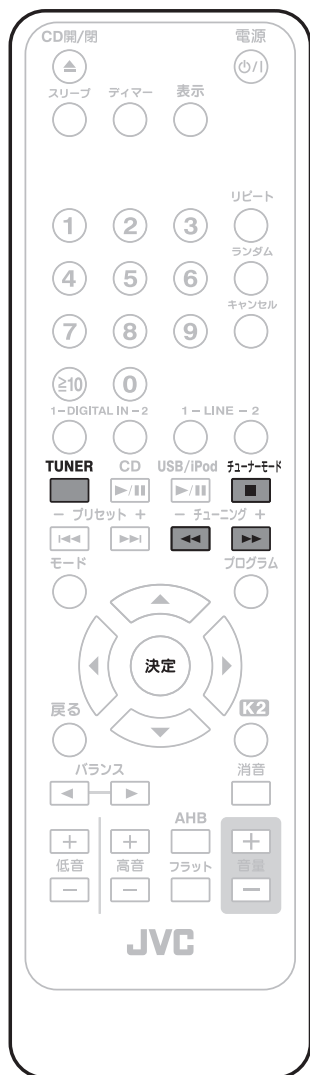
- 「Locked」と表示されます。

チャイルドロックを解除する

設定時と同じ操作をしてください。

- 「Unlocked」と表示されます。

FM/AM ラジオを聞く

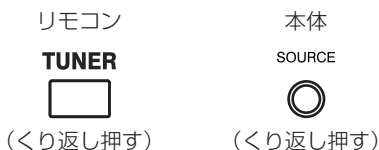


放送局を受信する

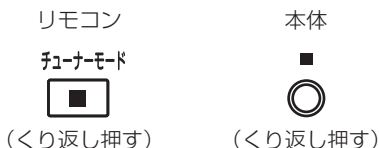
お知らせ

- ラジオを聞く前にアンテナを接続してください。(p. 9)
- 本機は AM ステレオ放送には対応していません。

1 「FM」または「AM」を選ぶ



2 選局方法(オート選局またはマニュアル選局)を選ぶ



- 電波状態の良い場合はオート選局を選びます。
(「AUTO」アイコンが点灯します)
- 電波状態の悪い場合はマニュアル選局を選びます。
(「AUTO」アイコンが消灯します)

3 放送局を選ぶ



- オート選局:
押すたびに、次の放送局を自動で受信します。
- マニュアル選局:
受信したい周波数になるまでくり返し押ししてください。
押し続けると連続して周波数が変わります。

お知らせ

- FM 放送では 0.1MHz ずつ、AM 放送では 9kHz ずつ受信周波数が変わります。
- オート選局ではステレオ受信、マニュアル選局ではモノラル受信になります。(FM 放送のみ)
- モノラル受信では、受信状態は改善されますがステレオ効果は失われます。

アンテナを調整する

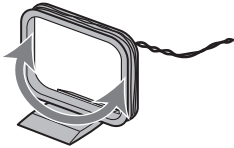
受信状態が良くないときは、放送を聞いて確認しながら、付属の室内アンテナを調整してください。

ご注意

- 集合住宅など鉄筋構造の住居では、受信状態が悪くなります。放送を良好に受信できない場合は、付属の室内アンテナを窓際に近づけてください。
- 付属の室内アンテナで放送を良好に受信できない場合は、市販の屋外アンテナの設置をおすすめします。

AM アンテナを調整する

付属の AM ループアンテナを左右に回して、最も受信状態の良い方向に向けて置きます。



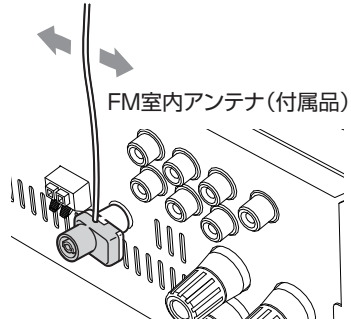
AMループアンテナ(付属品)

FM アンテナを調整する

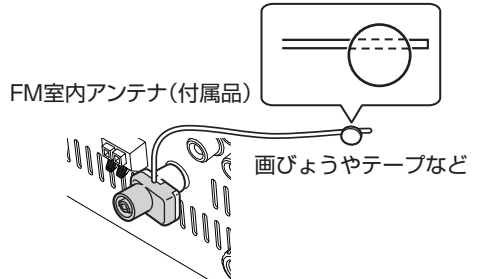
付属の FM 室内アンテナを調整し、固定します。

1 FM 放送を聞きながら、FM アンテナの位置を調整する

高さや方向を変えて、最も受信状態の良い位置を見つけます。



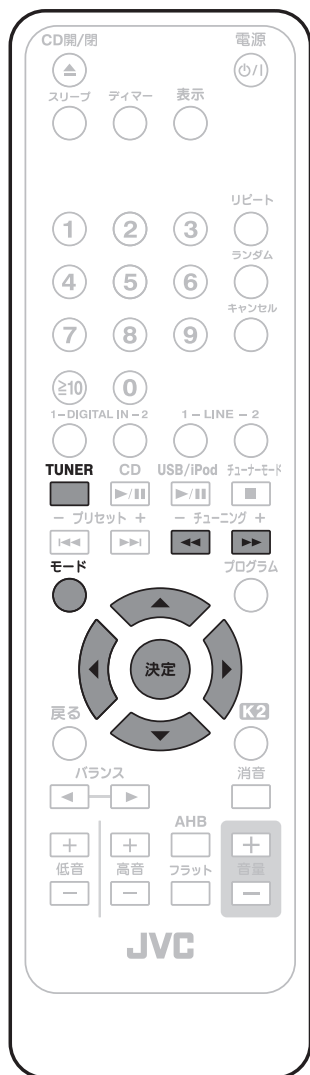
2 画びょうやテープなどで、アンテナの先を軽くはさんでとめる



ご注意

- 画びょうを使うときは、指先などにけがをしないようにご注意ください。
- 付属の FM 室内アンテナが結ばれている場合は、ほどいてまっすぐに伸ばしてください。



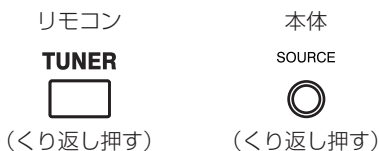


放送局を記憶させる(プリセット)

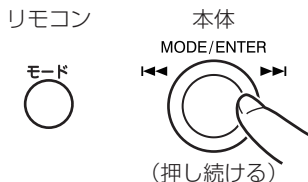
FM および AM の放送局を、あわせて最大 40 局まで記憶させることができます。

自動で記憶させる(オートプリセット、FMのみ)

1 「FM」を選ぶ



2 設定メニューを表示する

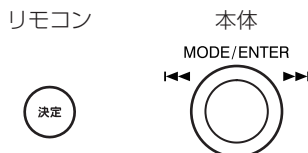


3 「Tuner Setup」→「Auto Preset」の順に選ぶ



- 確認のメッセージが表示されます。
- プリセットを中止するには、[モード]を押してください。

4 オートプリセットを開始する



- 周波数順に最大 40 局まで記憶されます。

ご注意

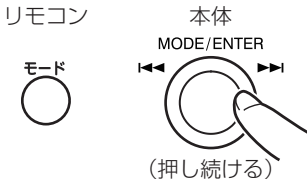
- プリセット番号にすでに記憶されている放送局がある場合は、新しい放送局に変更されます。

手動で記憶させる(マニュアルプリセット)

1 記憶させたい放送局を受信する



2 設定メニューを表示する



3 「Tuner Setup」→「Memory」の順に選ぶ



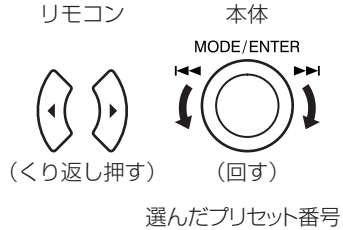
(くり返し押す)

- プリセット番号が点滅します。



- プリセットを中止するには、[モード]を押してください。
- 表示が点滅している間に、以下の手順を行ってください。

4 記憶させたいプリセット番号を選ぶ



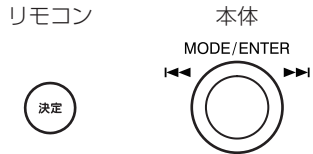
(くり返し押す)

(回す)

選んだプリセット番号

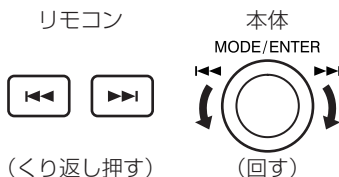


5 記憶させる



- プリセット番号にすでに記憶されている放送局がある場合は、確認のメッセージが表示されます。
- 新しい放送局に変更する場合は[決定]を押してください。
- 新しい放送局に変更しない場合は[モード]を押してください。

記憶した放送局を呼び出す



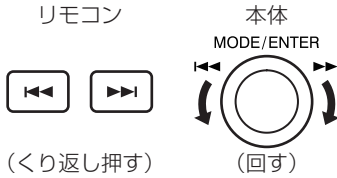
- 押し続けると連続して切り換わります。
- 数字ボタンでもプリセット番号を選べます。
 - 3 番目を選ぶとき: ③
 - 17 番目を選ぶとき: ≥ 10 ① ⑦

お知らせ

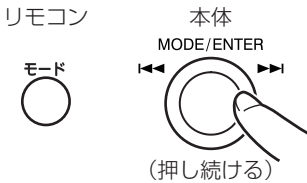
- プリセット番号にすでに記憶されている放送局がある場合、本体の[▶/||]を押し続けると、本体の[MODE/ENTER]で受信周波数を変更できるように機能が切り換わります。もう一度、本体の[▶/||]を押し続けると、本体の[MODE/ENTER]でプリセット番号を選べるように機能が切り換わります。

記憶させた放送局を消去する

- 1 消したい放送局のプリセット番号を選ぶ



- 2 設定メニューを表示する

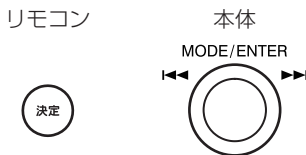


- 3 「Tuner Setup」→「PresetClear」の順に選ぶ

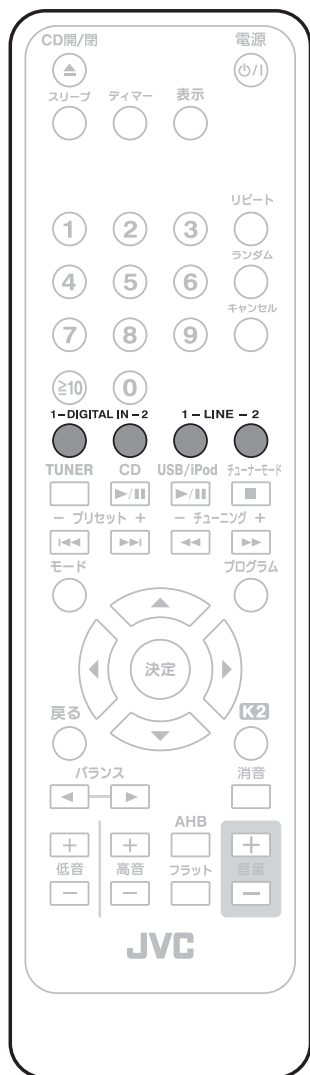


- 確認のメッセージが表示されます。
- 消去を中止するには、[モード]を押してください。

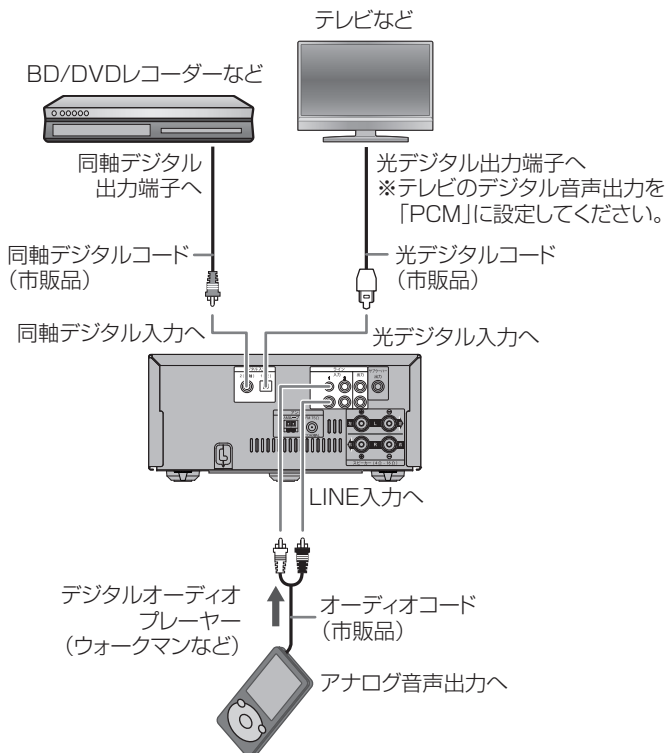
- 4 消去する



外部機器を聞く



外部機器を接続する



- お使いの外部機器の取扱説明書もご覧ください。

お知らせ

- ソニー製ウォークマンなど、USB 接続できない機器の場合は、LINE 入力端子にステレオミニプラグーピンプラグ接続コードなどで接続して、再生してください。

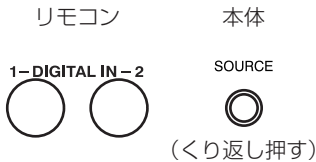
再生する

1 外部機器を接続した入力を選ぶ

LINE 入力端子に接続した機器を再生する場合



デジタル入力端子に接続した機器を再生する場合



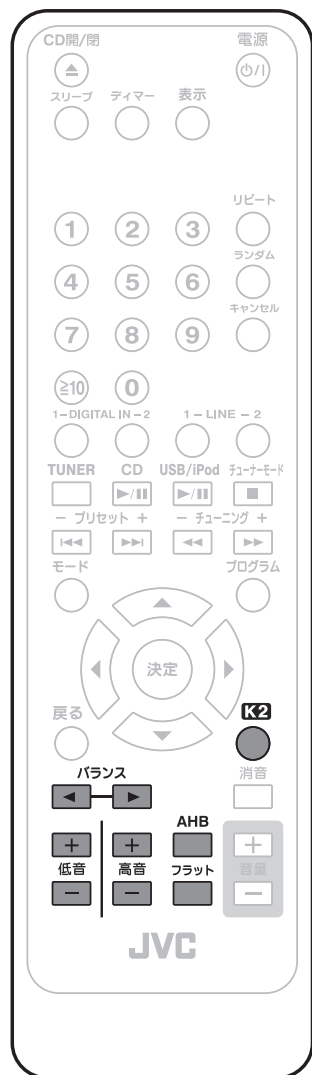
- 「DIGITAL IN」を使用するときは、外部機器のデジタル音声の出力設定を「PCM」にしてください。
「PCM」以外に設定されていると、音声は出力されません。

2 外部機器の再生を始める

お知らせ

- 本機で再生できるデジタル信号は、PCM (32 kHz ~ 192 kHz) です。

音質を設定する



再生音質を高める(K2機能)

K2機能は、録音時に失われた信号成分を補完し、より自然な音声再生を可能にします。

ご注意

音源が「CD」、「USB/iPod」、「DIGITAL IN1」、「DIGITAL IN2」のときに設定できます。



- 押すたびにオンとオフが切り換わります。
- K2機能がオンのときに K2 インジケーターが点灯します。

お知らせ

- デジタル音声にハイビット化(24bit)およびハイサンプリング化(128 kHz、176.4 kHz または 192 kHz)の処理を行い、信号成分を補完します。
- 音源が LINE 入力(「LINE1」、「LINE2」)またはラジオ放送(「FM」、「AM」)のときは、「Analog In」と表示され、調節できません。

お好みの音質に設定する



(くり返し押す)

- それぞれ以下の範囲で調節できます。
 - 低音: Bass -8 から Bass +8
 - 高音: Treble -8 から Treble +8
- 値が 2 ずつ変化します。

お知らせ

- ヘッドホンからの音声にも効果があります。

重低音を強める(AHB)



- 押すたびにオンとオフが切り換わります。

お知らせ

- ヘッドホンからの音声には効果がありません。

音質設定をリセットする

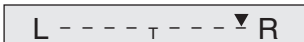


- 低音と高音の設定が 0 に、AHB の設定がオフになります。

スピーカーの左右の音量バランスを調整する



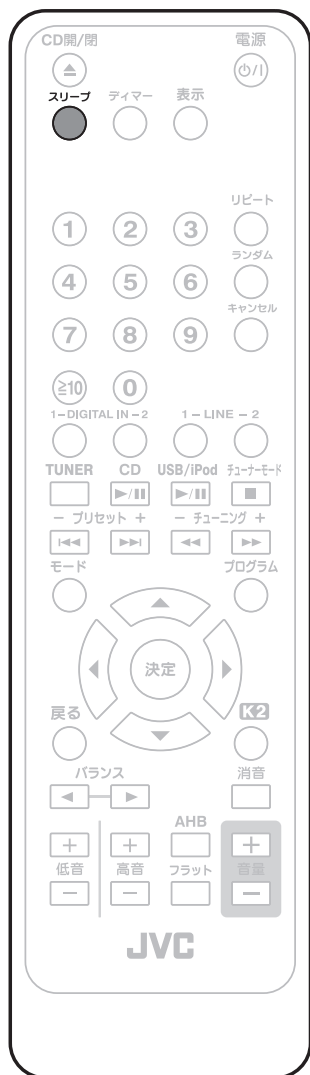
(くり返し押す)



- バランスは左右 7 段階の調整が可能です。



タイマーを使う



スリープタイマーを設定する

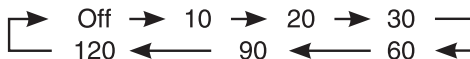
設定した時間が経過すると、本機の電源が自動的に切れます。

スリープ



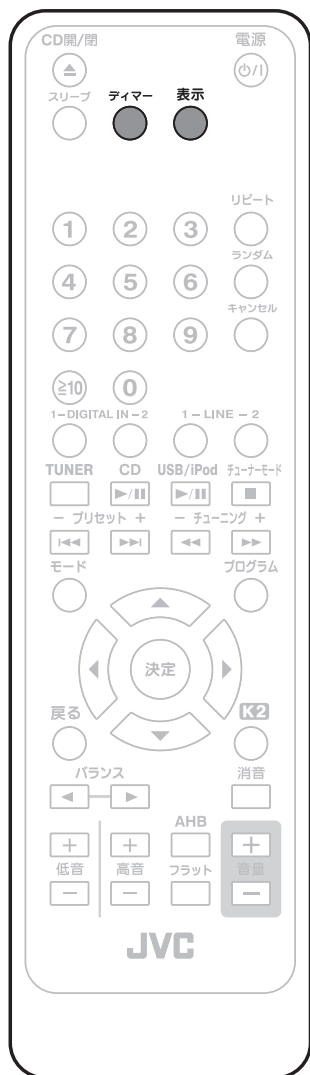
(くり返し押し)

- 押すたびに電源が切れるまでの時間(単位:分)が次のように切り換わります。



- スリープタイマーがオンのとき、「SLEEP」アイコンが点灯します。
- 残り時間を確認するには、[スリープ]を1回押してください。
- スリープタイマーを解除するには、電源をオフにするか、「Off」を選んでください。

その他の設定



表示される情報を変える

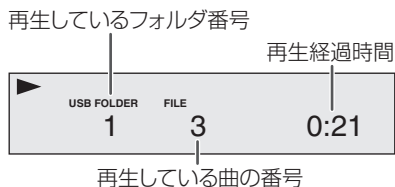
表示



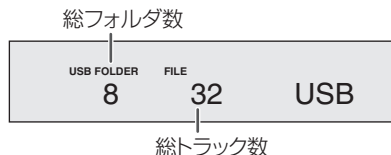
(くり返し押し)

- 押すたびに時間表示や情報に切り換わります。
- 音源によって、表示される情報は異なります。
- オーディオファイルの再生中は、表示部にタグ情報が表示されます。
- iPod では曲名、アーティスト名、アルバム名を切り換えることができます。

表示例:USB 機器再生時



表示例:USB 機器停止時



表示の明るさを変える

お好みやお部屋の状態によって調節してください。

ディママー

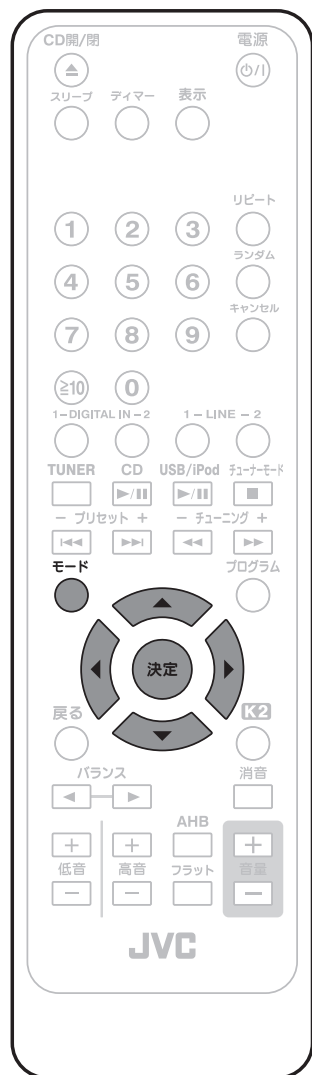


(くり返し押し)

- 押すたびに表示部の明るさが以下のように切り換わります。
通常の明るさ → 輝度が下がる → 輝度がさらに下がる → (最初に戻る)
- 電源を切っても設定は消えません。



その他の設定



オートパワーセーブ(節電機能)をオフに設定する

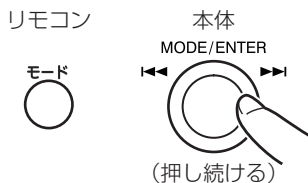
オートパワーセーブとは、無操作が約 15 分間続くと、自動で電源がオフになる機能です。

- お買い上げ時にはオートパワーセーブはオンになっています。オフにするときは以下の手順で「Off」を選んでください。

ご注意

- 外部機器で録音するときは、オートパワーセーブをオフにする、または本機の音量を 1 以上にして録音してください。

1 設定メニューを表示する



2 「A.P.S. Set」を選ぶ



3 「Off」を選ぶ

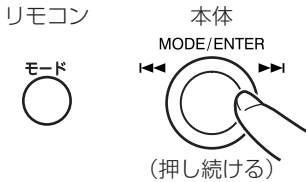


オートパワーセーブ(節電機能)をオンに設定する

無操作が約 15 分間続くと、自動で電源がオフになる機能です。

オートパワーセーブをオンにするときは、以下の手順で「On」を選んでください。

1 設定メニューを表示する



2 「A.P.S. Set」を選ぶ



3 「On」を選ぶ



以下のいずれかの状態のとき、本機の電源は自動的に切れます。

- 音量が 0 のとき、または消音しているとき
- 音源が「CD」または「USB/iPod」で、再生を停止しているとき
- 音源が「DIGITAL IN1」、「DIGITAL IN2」、「LINE1」または「LINE2」で、音声が入力されていないとき

お知らせ

- 本機の電源が切れる約 30 秒前に「A.P.S.」表示が点滅を始めます。
- 途中でボタン操作を行なった場合は、その時点から 15 分間カウントし直します。
- スリープタイマーの動作中もオートパワーセーブは働きます。



その他

再生できる iPod

Made for	※
iPod nano(第7世代)	1.0.3
iPod nano(第6世代)	1.2
iPod nano(第5世代)	1.0.2
iPod nano(第4世代)	1.0.4
iPod nano(第3世代)	1.1.3
iPod nano(第2世代)	1.1.3
iPod touch(第5世代)	7.0.6
iPod touch(第4世代)	6.1.6
iPod touch(第3世代)	5.1.1
iPod touch(第2世代)	4.2.1
iPod touch	3.1.3
iPod classic	2.0.4
iPhone 5s	7.0.6
iPhone 5c	7.0.6
iPhone 5	7.0.6
iPhone 4s	7.0.6
iPhone 4	7.0.6
iPhone 3GS	6.1.6
iPhone 3G	4.2.1

※ 動作確認時のソフトウェアのバージョン

- iPod が正しく再生されないときは、iPod の最新版ソフトウェアをダウンロードし、アップデートしてください。
iPod について詳しくは、Apple 社のウェブサイトをご覧ください。<<http://www.apple.com/>>

再生できる CD とファイル

- CD 規格 (CD-DA) に準拠しない CD については、動作や音質を保証できません。
CD を再生する際は、「CD ロゴマーク」の有無や、パッケージのご注意をお読みになり、CD 規格に準拠する CD であることをお確かめください。
- CD の特性・記録状態・傷・汚れ、またはプレーヤーのレンズの汚れ・結露などにより本機で再生できないことがあります。
- CD の使用上のご注意をよくお読みください。
- CD テキストの表示には対応しておりません。

CD	下記のマークのある CD を再生することができます。   
ファイル	CD-R/CD-RW の MP3/WMA ファイル

CD-R/CD-RW のご注意

お客様が編集した CD-R/CD-RW は、ファイナライズ処理されている CD に限り本機でお楽しみいただけます。

- レーベル面に印刷可能な CD-R/CD-RW を使用すると、レーベル面が貼り付いてディスクの取出しができないことがあります。本機の故障の原因となるため、このようなディスクは使用しないでください。
- CD-R/CD-RW を作成するときは、フォーマットを「ISO 9660 Level1」にしてください。また、パケットライト方式(UDF フォーマット)は使用しないでください。
- MP3/WMA ファイルの入った CD-R/CD-RW は、通常の音楽 CD よりも読み取りに時間がかかります。(フォルダやファイルの構成により読み取り時間は異なります。)

USB 機器のご注意

- 再生できる USB 機器のファイルは、MP3/WMA/AAC ファイルです。
- USB 端子には、iPod、iPhone、USB フラッシュメモリーや USB マスストレージクラス対応のデジタルオーディオプレーヤー以外の機器を接続しないでください。
- USB 機器の容量は 16GB 以下を推奨します。
- 収録されているファイルが多いほど、本機の読み込み時間が長くなります。
- USB 機器のセキュリティ機能は、接続する前に解除してください。
- 本機の USB 端子は、パソコンとは接続できません。
- 接続する機器によっては誤動作する場合があります。このときは、本機の電源を1度切ってから入れ直してください。
- USB ハブは使用しないでください。
- すべての USB 機器の動作を保証するものではありません。
- USB 機器が複数のパーティションに分かれている場合は、先頭のパーティションのみ認識します。
- USB 機器によっては、認識されるまでに時間がかかることがあります。
- USB 機器によっては、本機が認識できないことがあります。
- USB 機器に再生可能なファイルがない場合は、再生は開始されません。
- 本機から USB 機器へ録音することはできません。
- 本機では、ファイルやフォルダを削除することはできません。
- 接続するときは、USB 機器の取扱説明書もご覧ください。

オーディオファイルのご注意

- 再生できるオーディオファイルは<.mp3>、<.wma>または<.m4a>(USB 機器のみ)の拡張子がついているファイルです。
- 本機では、以下のような転送レートとサンプリング周波数で作成されたオーディオファイルを再生できます。

ディスクに収録されている場合

サンプリング周波数	32kHz/44.1kHz/48kHz
転送レート	MP3: 32kbps～320kbps WMA: 32kbps～192kbps

USB 機器に収録されている場合

サンプリング周波数	32kHz/44.1kHz/48kHz
転送レート	MP3: 8kbps～320kbps WMA: 5kbps～384kbps AAC: 8kbps～320kbps

- オーディオファイルは、サンプリング周波数 44.1kHz、転送レート 128kbps で作成されたディスクを推奨します。
- 本機で認識できるフォルダおよびファイル数は以下のとおりです。

CD1 枚あたり

最大フォルダ数	99
1 フォルダ内の最大ファイル数	499
フォルダ階層数	最大 8 階層

※ 数字はフォルダ数とファイル数の合計です。

USB 機器 1 台あたり

FAT16	ルートフォルダ内: 最大 512 サブフォルダ内: 最大 65534
FAT32	ルートフォルダ内: 最大 65536 サブフォルダ内: 最大 65534

- ※ 数字はフォルダ数とファイル数の合計です。
- 最大 8 階層まで、フォルダを認識できます。
 - DRM ファイルは再生できません。
 - 1 曲が 2GB 以上のファイルは再生できません。
 - 録音状態や記録方法によっては再生できないオーディオファイルもあります。その場合、再生できないファイルはスキップされます。

- オーディオファイルの再生順について(オーディオファイルを含まないフォルダは無視されます)
 - 先に作成したフォルダから順に再生します。フォルダ内では先に記録した曲から順に再生します。
 - 記録のしかたによっては、順番が異なることがあります。
 - フォルダ名やファイル名を変えると、順番が変わることがあります。
- フォルダ名、ファイル名の頭に「01」から「99」などの番号を付けてメディアに記録すると、再生する順番を設定することができます。
- ファイル名に半角英数字とカタカナ以外の文字が使われていると、ファイル名が正しく表示されません。
- 本機は ID3 TAG VERSION1,2(曲名、アーティスト名、アルバム名)、ファイル名、フォルダ名を表示できます(ただし半角カタカナ、半角英数字のみ)。
- 表示できる最大文字数は以下のとおりです。
 - CD : ファイル名/フォルダ名およびタグ表示(タイトル/アルバム名/アーティスト名):31文字
 - USB : ファイル名/フォルダ名およびタグ表示(タイトル/アルバム名/アーティスト名):32文字

商標

- Microsoft、Windows Media は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- “Made for iPod,” “Made for iPhone,” and “Made for iPad” mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod, iPhone, or iPad, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod, iPhone, or iPad may affect wireless performance. AirPlay, iPad, iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, iPod touch, and Retina are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. iPad Air, iPad mini, and Lightning are trademarks of Apple Inc. The trademark “iPhone” is used with a license from Aiphone K.K.
- Android は Google Inc. の商標です。

故障かな？と思ったら

問題の多くは、当社ホームページ

<http://www3.jvckenwood.com/>

や右記の QR コードから最新の製品 Q&A 情報をご覧ください。ご自分で解決できます。

カスタマーサポートセンターにご相談になる前に下記をチェックしてください。

- PC サイトです。
- サイトの内容は予告なく変更になることがあります。



(QR コードは
(株)デンソーウェーブ
の登録商標です)

共通

症状	処置
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none">• コンセントを正しく差し込んでください。• スピーカーコードがショート(芯線の＋とーが接触)していないか、ばらけて細い線が本体の金属部分などに接触していないか確認し、正しく接続してください。
マイコンが誤動作(操作できない、表示部の誤表示など)する	<ul style="list-style-type: none">• 電源が入ったまま接続コードを抜き差ししたときや、外部からの要因によって、誤動作することがあります。以下の手順でマイコンをリセットしてください。リセットすると、設定内容などは、お買い上げ時の状態となります。 <p>マイコンリセット方法</p> <ol style="list-style-type: none">① 電源が入った状態で、本体の[■]を押しながら、本体の[⏻/⏷](電源ボタン)を押す② リセットが終了し、スタンバイモードになる
スピーカーから音が出ない	<ul style="list-style-type: none">• スピーカーや機器を正しく接続してください。• 音量を上げてください。• 消音を解除してください。• ヘッドホンをはずしてください。
スピーカーの片側から音が出ない	<ul style="list-style-type: none">• スピーカーを正しく接続してください。• 左右の音量バランスを確認してください。
デジタル入力端子(DIGITAL IN1, DIGITAL IN2)から音が出ない	<ul style="list-style-type: none">• 機器を正しく接続してください。• 接続機器のデジタル音声出力設定を「PCM」に設定しているか、確認してください。
リモコンで操作できない	<ul style="list-style-type: none">• 電池を 2 本ともいったん取り外し、リモコンのボタンのどれか 1 つを 30 秒ほど押してから、電池を入れ直してください。• 新しい電池に入れ換えてください。• 操作範囲内で操作してください。• 電池の端子部が汚れている場合は、ビニール手袋などをはめて汚れを拭き取ってください。• 接触不良の場合は、電池を装着した状態で、指で回してください。
不自然な音になっている。	<ul style="list-style-type: none">• スピーカーの極性(+、-)を間違えて配線すると、楽器などの位置がはっきりしない不自然な音になります。配線を確認してください。(p. 8)

故障かな?と思ったら

iPod

症状	処置
iPod の音が出ない/充電できない/認識できない	<ul style="list-style-type: none">• iPod を正しく接続してください。 iPod とケーブルを本機から取りはずし、もう一度接続し直してください。• 一度本機の電源を入れなおしてください。• iPod をはずした状態で、iPod をリセットし、本機の電源コードを抜き差ししてください。(iPod のリセット方法については、アップル社のウェブサイトをご覧ください)• iPod 用のケーブルが断線している可能性があります。パソコンとの接続や充電が正常にできるか確認し、不具合があればケーブルを取り替えてください。
チャージモードをオンに設定しても、本機の電源が切れているとき(スタンバイ状態のとき)に iPod/iPhone を充電できない	<ul style="list-style-type: none">• iPod nano(第2世代)、iPod touch(第1世代/第2世代/第3世代/第4世代)、iPhone 3G、iPhone 3GS、iPhone 4 は本機の電源が切れているとき(スタンバイ状態のとき)に接続しても充電できません。本機の電源が入っているときに充電してください。

USB 機器

症状	処置
USB フラッシュメモリーまたは USB オーディオプレーヤーを接続しても音が出ない	<ul style="list-style-type: none">• USB フラッシュメモリーを正しく差し込んでください。• USB ケーブルを正しく接続してください。• USB オーディオプレーヤーの電源を入れてください。• パソコンで、USB フラッシュメモリーを FAT32 形式でフォーマットしてください。(フォーマットすると、USB フラッシュメモリーに記録されているデータはすべて消去されますので、ご注意ください)• 他の USB フラッシュメモリーに交換してみてください。
ソニー製ウォークマンを再生できない/認識できない	<ul style="list-style-type: none">• 本機の USB 端子は、ウォークマンの接続には対応していません。ウォークマンは LINE 入力端子にステレオミニプラグーピンプラグ接続コードなどで接続して、再生してください。

CD

症状	処置
ディスクを入れても再生できない音が出ない	<ul style="list-style-type: none">• ラベル面を上にして、正しく入れてください。• ディスクの汚れを拭きとってください。
再生できないオーディオファイルがある	<ul style="list-style-type: none">• オーディオファイルが壊れている場合は再生できません。• 本機で再生できるオーディオファイルか確認してください。• パケットライト方式や UDF (Universal Disc Format) 方式で記録されたディスクは再生できません。
再生するまでに時間がかかる	<ul style="list-style-type: none">• フォルダの数が多い場合は、再生するまでに時間がかかることがあります。
タグ情報が正しく表示されない	<ul style="list-style-type: none">• 本機で表示できるタグ情報を確認してください。
CD トレイが開かない	<ul style="list-style-type: none">• チャイルドロックがオンになっています。設定を解除してください。(p. 27)

ラジオ

症状	処置
放送局が受信できない	<ul style="list-style-type: none"> アンテナを正しく接続してください。 受信したい放送局の周波数に合わせてください。
雑音が入る	<ul style="list-style-type: none"> 外部アンテナを道路から離して設置してください。 テレビから離して、設置してください。
プリセットコールができない	<ul style="list-style-type: none"> もう一度放送局を自動で記憶させてください。 受信できる周波数の放送局をマニュアルプリセットで記憶させてください。

レコードプレーヤー

症状	処置
レコードプレーヤーの音が出ない	<p>本機はレコードプレーヤーに対応していません。</p> <ul style="list-style-type: none"> レコードプレーヤーにフォノイコライザーアンプが内蔵されている場合は、オンにしてください。 レコードプレーヤーにフォノイコライザー機能が付いていない場合は、お使いのカートリッジの種類をご確認のうえ、別途市販のフォノイコライザーアンプをお求めください。(ご購入の際は、販売店様にご相談ください。)

主な仕様

本体(CA-EXHR11/CA-EXHR9/CA-EXHR7/CA-EXHR5)

アンプ部

実用最大出力		50 W + 50 W (JEITA* 4 Ω)
スピーカーインピーダンス		4 Ω - 16 Ω
音声出力	アナログ出力(ライン)	500 mV / 47 kΩ
	サブウーハー	2 V / 10 kΩ
音声入力	アナログ入力(ライン)2 系統	500 mV / 47 kΩ
	デジタル入力(光)	-24 dBm ~ -15 dBm
	デジタル入力(同軸)	0.5 Vp-p / 75 Ω

USB 部

対応 USB 機器	USB マスストレージクラスデバイス
インターフェイス	USB2.0(Full speed)USB1.1 互換
対応ファイルシステム	FAT 16 / FAT 32
出力	DC 5 V  1 A

チューナー部

FM チューナー部	受信周波数範囲	76 MHz ~ 90 MHz
	アンテナインピーダンス	75 Ω 不平衡
AM チューナー部	受信周波数範囲	531 kHz ~ 1,629 kHz

CD プレーヤー部

読み取り方式	非接触光学式読み取り(半導体レーザー)
--------	---------------------

電源部・その他

電源	AC 100 V, 50 Hz / 60 Hz
消費電力	45 W(動作時) 0.5 W 以下(スタンバイ状態)
最大外形寸法(幅 × 高さ × 奥行)	280 mm × 115 mm × 289 mm (CA-EXHR11/CA-EXHR9) 255 mm × 115 mm × 289 mm (CA-EXHR7) 255 mm × 115 mm × 289 mm (CA-EXHR5)
質量	4.2 kg (CA-EXHR11/CA-EXHR9) 3.4 kg (CA-EXHR7) 3.2 kg (CA-EXHR5)

主な仕様

スピーカー

SP-EXHR11/SP-EXHR9

スピーカータイプ	1 ウェイバスレフ型
スピーカーユニット	フルレンジ:9 cm
最大入力	50 W
定格入力	12.5 W
インピーダンス	4 Ω
最大外形寸法(幅×高さ×奥行)	120 mm×161 mm×264 mm
質量(1本あたり)	2.2 kg

SP-EXHR7

スピーカータイプ	2 ウェイバスレフ型
スピーカーユニット	ツイーター:2 cm、ウーハー:11 cm
最大入力	100 W
定格入力	25 W
インピーダンス	4 Ω
最大外形寸法(幅×高さ×奥行)	149 mm×262 mm×249 mm
質量(1本あたり)	4.2 kg

SP-EXHR5

スピーカータイプ	1 ウェイバスレフ型
スピーカーユニット	フルレンジ:8.5 cm
最大入力	50 W
定格入力	12.5 W
インピーダンス	4 Ω
最大外形寸法(幅×高さ×奥行)	120 mm×161 mm×246 mm
質量(1本あたり)	1.8 kg

本機は「JIS C61000-3-2 適合品」です。

*は JEITA (電子情報技術産業協会) の測定法に基づく数値です。

本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス

保証書

所定事項記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。保証期間はご購入の日より1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

製造打ち切り後8年です。補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。お客様にご記入いただいた保証書は、保証期間中、およびその後の点検・サービス活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。

- 保証期間中、取扱説明書および本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障した場合は、無償修理または本体部の交換をさせていただきます。その際、当社の判断で再生部品を用いる場合があります。商品と本書をお買い上げの販売店にご持参ご提示のうえ、修理をご依頼ください。
- 保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店、または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
- 次のような場合は保証期間内でも有料修理にさせていただきます。
 - 本書のご提示がない場合。
 - 本書に型名、製造番号、お買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ販売店名の記載がない場合。
 - ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
 - お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障および損傷。
 - 火災、地震、風水害、雷その他の天災地変、虫害、塩害、公害、ガス害(硫化ガスなど)や異常電圧、指定以外の使用電源(電圧・周波数)による故障および損傷。
 - 不具合の原因が本製品以外(外部要因)による場合。
 - 一般家庭用以外(例えば業務用などへの長時間使用および車輛、船舶への搭載)に使用された場合の故障および損傷。
 - 消耗品(電池など)の消耗。
 - (持込修理対象商品の場合)
持込修理の対象商品を直接メーカーへ送付した場合の送料はお客様負担とさせていただきます。また、出張修理を行なった場合には、出張料はお客様負担とさせていただきます。
 - (出張修理対象商品の場合)
離島および離島に準ずる遠隔地へのお出張修理を行なった場合は、出張に要する実費を申し受けます。
 - 不注意、許可なしに行なった修正/改造、あるいは事前承諾を得ずに付加した部品またはインストールしたソフトウェア、ファームウェアが原因となって損傷が発生した場合。
- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって株式会社 JVC ケンウッドおよびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan.

- 修理などのアフターサービスについて、下記ホームページをご覧ください。
<http://www3.jvckenwood.com/support/hrepair.html>
- 商品や修理(アフターサービスなど)に関するお問い合わせは、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。

[freedial] 0120-2727-87(フリーダイヤル)

(携帯電話、PHS、IP 電話からは 045-450-8950、FAX 045-450-2308)

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00/土曜 9:30～12:00、13:00～17:30
(日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)



保証書

持込修理

品名 オーディオ商品		製造番号	
型名 EX-HR11/EX-HR9/ EX-HR7/EX-HR5			
お客様	お名前	ふりがな	
	ご住所		
お買い上げ年月日		保	お買い上げ日から
年 月 日		期間	本体 1年間
お買い上げ店		住所・店名・電話	

お客様へのお願い

1. 本書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ販売店名が記載されているかお確かめください。万一記入がない場合は直ちにお買い上げ販売店にお申し出ください。購入日の確認できる書類（シールやレシートなど）の添付でもかまいませんので、大切に保管してください。
2. 製造番号の記載がない場合は、お手数ですが、お買い上げ商品の製品番号をお確かめのうえ、記入をお願い致します。
3. ご贈答品などで、本書記載のお買い上げ販売店に修理がご依頼になれない場合は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
4. ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
5. 本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。

ホームページ <http://www3.jvckenwood.com/>

株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022 横浜市神奈川区守屋町3-12